

こんにちは もうり栄子です

物価の高騰が収まりません。灯油・ガソリン・ガス・電気などに加え日常生活の必需品である食料品が次々値上がりとなり悲鳴が上がっています。9月議会では「価格高騰対策第2弾」として住民税非課税世帯へ5万円、住民税所得割非課税世帯に3万円の緊急支援に加え、社会福祉施設、医療機関などの光熱費高騰分助成、農家の肥料や飼料など高騰分への支援77億円余が補正予算として決まりましたが、だれもが恩恵を受けられるためには消費税減税しかないと思います。9月議会も困っている皆さんの声を届けて頑張らせていただきます。



農政林務委員会で質問

県産小麦の生産拡大で 安心安全な小麦の提供を

水稲からの転作作物として栽培されている県産小麦は、長野県製粉協会との話し合いの中で生産量が決められています。

輸入小麦には発がん性物質のグリホサートが混入されていることが問題になっているなか、安全安心な県産小麦の生産をさらに増やし消費拡大を図って欲しいと農政委員会で質

問。県産小麦はパンや中華麺に使われているがたんぱく質の含量が少ないことから品質向上を図っている。今回長野県製粉協会の買い取り価格にキロあたり6円を上乗せして生産者の所得向上と生産意欲の向上を図ると課長が答弁。

年間6500トンから将来10000トンに増産する見通しです。

輸入に頼らない 自前飼料で乳量増える

農政林務委員会の東北信調査で(株)八千穂TMRセンターへ。

配合飼料が高騰する中経営への直撃や将来への不安に対応しようと2014年八千穂の酪農家7戸がお金を出し合い5000万円弱かけて作った飼料製造所。「牛の給食センター」との紹介を受けました。

干し草に加え酒の絞りカスなど25種類をませ牛の状態にあった栄養価の高い飼料を一日10トン製造。その結果生乳の生産量が増えているとのことでした。安全・安心・安価な国産飼料で家畜を育てることは生産者にとっても消費者にとっても願ったりかなったりだと思いました。

果樹剪定枝をチップ化して エネルギー利用できないか

委員会の視察のおり果樹栽培農家の団体から大量に出る剪定枝を現在は野焼きしているがCO2削減に貢献するためにチップにしてバイオマスエネルギーとして利用したい。そのためチップの導入に補助して欲

しいと要望を受け委員会で質問。

課長は枝が細すぎるので難しい面がある。炭にして土壌改良や灰を肥料に使うことも可能なので研究したいと答弁。



(株)八千穂TMRセンターで現地調査
うしろは干し草(8月25日)



委員会で質問(10月6日)

森林づくり県民税と国の森林環境税との すみ分け及び必要性の検証を

森林づくり県民税は個人住民税の均等割500円、法人均等割5%を上乗せして3期15年実施してきました。知事は来年以降も継続方針を示していますが、国が令和6年から1000円徴収するため、県民税6億8000万円分は国の森林環境税18億7000万円分の配分で吸収されないか

と林務委員会で質問。

課長は今後は主伐に加え、再造林をすすめたいために必要と答弁。二つの税の使い方のすみわけと減少する林業労働者の人材確保、長野県の山をどうするかビジョンや検証の必要性を求めました。



県産材をふんだんに使った豊野高等専修学校で現地調査(8月24日)

